

様式第1号 (第2条関係)

委託費執行(変更)概要書

市 長		副 市長		部 長		課 長		補 佐		主 査		係 長		係 員	
--------	--	---------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------	--

施 工 年 度 令和3年度 業務委託名 3日川地区排水路清掃業務委託

施 工 場 所 等 神 栖 市 日 川 地 内

設 計 概 要

排水構造物清掃工 N = 1 式
 運搬処理工 N = 1 式
 仮設工 N = 1 式

費 目	起 工	第 回変更	第 回変更	増 △減
起 工 額	¥ 円			
請負に付する額又は請負額		円		
委 託 価 格	¥ 円			
測量試験費又は工事雑費		円		
消 費 税 相 当 額	¥ 円			
請 負 決 定 額		円		

変更委託価格算定基準

$$\text{変更委託価格} = \text{変更積算委託価格} \times \text{請負比率} \left(\frac{\text{起工時の請負決定額}}{\text{起工時の請負に付する額}} \right)$$

変 更 積 算 委 託 価 格	×	請 負 比 率	=	変 更 委 託 価 格
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □		□ □ □ □ □ □ □ □		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □

工事数量総括（内訳）表

第 31-80-500-T-960 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
排水構造物清掃工			1	式		
排水構造物清掃工			1	式		
排水構造物清掃工			1	式		排水構造物清掃工 1.000 式
運搬処理工			1	式		
運搬処理工			1	式		
運搬処理工			1	式		運搬処理工 1.000 式
仮設工			1	式		
仮設工			1	式		
仮設工			1	式		仮設工 1.000 式
直接工事費計			1	式		
共通仮設費（率計上）			1	式		
共通仮設費計			1	式		
純工事費			1	式		
現場管理費			1	式		
工事原価			1	式		
一般管理費等			1	式		
工事価格			1	式		
消費税相当額			1	式		

工事数量総括（内訳）表

第 31-80-500-T-960 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
請負工事費						
			1	式		

本工事費内訳書

第 31-80-500-T-960 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
排水構造物清掃工					
排水構造物清掃工					
排水構造物清掃工					
排水構造物清掃工	1.000	式			
側溝清掃(単独作業) 清掃作業 m当りの平均泥土量 q (実数入力(0.24 m ³ /m), 側溝清掃車機種(ブロワ式ホッパ容量4.5~5.0m ³), 機械使用区分(持込), 機械供用日当り運転時間t(標準)	231.000	m			
管渠清掃工(機械清掃) 清掃作業 作業量区分(管径400mm以上800mm未満 50%未満), 排水管清掃車機種(高压水洗浄式(ジェット式5.3-5.8m ³)), 排水管清掃車使用区分(持込), 側溝清掃車機種(ブロワ式ホッパ容量4.5~5.0m ³), 側溝清掃車使用区分(持込), 散水車機種(5500~6500L), 散水車使用区分(持込), 機械供用日当り運転時間t(標準)	21.000	m			
集水桝清掃工(機械清掃組合せ) 清掃作業 泥土堆積厚(25cm以上), 排水管清掃車機種(高压水洗浄式(ジェット式5.3-5.8m ³)), 排水管清掃車使用区分(持込), 側溝清掃車機種(ブロワ式ホッパ容量4.5~5.0m ³), 側溝清掃車使用区分(持込), 散水車機種(5500~6500L), 散水車使用区分(持込), 機械供用日当り運転時間t(標準)	6.000	個			
運搬処理工					
運搬処理工					
運搬処理工					
運搬処理工	1.000	式			
汚泥運搬	162.000	m ³			

本 工 事 費 内 訳 書

第 31-80-500-T-960 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
汚泥処分					
	78.000	t			
仮設工					
仮設工					
仮設工					
仮設工					
	1.000	式			
交通誘導警備員 B					
	4.000	人			
直接工事費計					
共通仮設費（率計上）					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費等					
工事価格					
消費税相当額					
請負工事費					

令和3年度

3日川地区排水路清掃業務委託

数 量 計 算 書

(様式-1)

リサイクル計画書 (詳細・積算段階)

1. 設計概要

発注機関名	神栖市役所 農林課
工事名	3日川地区排水路清掃業務委託
施工場所	神栖市日川地内
工事概要等	施工延長L=252m, 排水構造物清掃工N=1式, 運搬処理工N=1式, 仮設工N=1式
工期(予定)	

2. 建設資材利用計画

建設資材	①利用量	②現場内利用	③再生材利用量	④新材利用量	⑤再生資源利用率 (②+③)/①x100	備考
土砂	m ³	m ³	m ³	m ³	%	
砕石(欽漣)	ト	ト	ト	ト	%	
アスファルト混合物	ト	ト	ト	ト	%	
他産業からの再生材	ト	ト	ト	ト	%	

3. 建設副産物搬出計画

指定副産物の種類	⑥発生量	⑦現場内利用量 (減量化量)	⑧他工事への搬出量	⑨再資源化施設への搬出量	⑩最終処分量	⑪現場内利用率 (⑦/⑥x100)	⑫有効利用率 (⑦+⑧+⑨)/⑥x100
建設発生土	第1種 建設発生土					%	
	第2種 建設発生土					%	
	第3種 建設発生土					%	
	第4種 建設発生土					%	
	泥土(浚渫土)					%	
合計					%		
コンクリート塊	ト	ト	ト	ト		%	%
アスファルト・コンクリート塊	ト	ト	ト	ト		%	%
スラック材	ト	ト	ト	ト		%	%
建設汚泥	7.8ト	ト	ト	7.8ト		%	%

*建設発生土の区分(既存資料から判断するものとする。)

- ①第1種建設発生土・・・砂、礫及びこれらに準ずるもの。
- ②第2種建設発生土・・・砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの。
- ③第3種建設発生土・・・通常の施工性が確保される粘性土及びこれらに準ずるもの。

④第4種建設発生土・・・粘性土及びこれらに準ずるもの。(第3種建設発生土を除く)

⑤泥土(浚渫土)・・・浚渫土のうち概ねqc2以下のもの。

*建設発生木材の中には、伐除根材及び剪定材を含む。

*利用量等は、現時点で算出可能なものを記載する。

<参考> 重量換算係数 (ト/%)

項目	荷積み状態での換算値		実体積による換算値
	建廃がイロイン値(注1)	参考値(ト/%)	参考値(ト/%)
建設汚泥	1.2~1.6	1.4	1.4
コンクリート塊 (建設廃材)		1.8*注2	2.35(無筋)
アスファルト塊	1.6~1.8	1.8*注2	2.35
建設発生木材	0.4~0.7	0.5	
金属くず	1.4~2.0	1.5	

項目	荷積み状態での換算値	
	建廃がイロイン値(注1)	参考値(ト/%)
廃プラスチック	0.1~0.3	0.2
建設混合 廃棄物	新築	0.31注3
	木造解体	0.816
アスベスト	—	0.25
砕石	—	—
		2.0*注4

注1：建廃がイロイン値：(「建設廃棄物処理がイロイン」厚生省生活衛生局水道環境部産業廃棄物対策室監修)による値

注2：これは運搬時における空隙を多く含む状態での標準的な換算値である。

注3：建設混合廃棄物の新築は(社)建築業協会の調査結果(H2.9.30)、木造解体は「関東木造建設解体業連絡協議会」の調査結果(H3.3.4)による。

注4：盛土状態での換算値。(「道路橋示方書・同解説」(社)日本道路協会)等による値。